

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《地域の魅力をみんなに発信》
- 2 単元名 『芳井のいいところ』（全 20 時間=実施時期： 7月 ~ 10月）
- 3 単元のねらい

地域の自慢を考える活動を通して、地域の魅力を理解し、現状をふまえた課題を設定する。取材や見学、資料をもとに情報を収集する力や、事象を比較・分類しながら多面的に分析し、相手や目的を意識したプレゼンテーションを行う力を育てると共に、地域の伝統や文化を守り、伝えていきたいという態度を養う。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと（こと）」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		コロナ禍で、観光客やイベントが減っていることに気付かせ、「地域の魅力を発信し、たくさんの人に芳井町に遊びに来たいと思ってもらおう」というめあてをもつことができるようにする。	芳井町の重要文化財、特産品、お店、自然などを本やインターネットで調べたり、見学に行ったりなどして情報を集める。	集めた情報を整理し、観光客増加に関係する情報を選ぶ。	リーフレットにまとめたり、劇にして学習発表会などで発表したりして、保護者や地域の方に芳井の魅力を伝える。
引き出したい姿	いばら愛 <small>(郷土愛と当事者性)</small>	重要文化財や地域の行事、地域の偉人について興味をもつ。 特産品やお店について、3年生で習ったことを思い出す。		芳井町の特色について理解し、アピールしたいと考える。	地域の魅力を理解し、誇りを持つ。
	やり抜く力 <small>(忍耐と向上心)</small>			集めた情報を整理し、観光客増加につながる情報は何か、伝えたいことは何かを考え、グループで話し合う。	伝えたいことをはっきりさせ、リーフレットにまとめる。
	まき込む力 <small>(発信と協働)</small>		地域の人や家族に、調べたいことを尋ねたり、思いを聞いたりする。		学習発表会などで、劇にして楽しく魅力を発信しようとする。
仕掛け・工夫	もの	人口減少のグラフ	重要文化財の見学に行く。		
	ひと	運動会で芳井幼稚園の園児と会う。	お店の人にインタビューをする。	地域の魅力を伝えようとしている中学生にアドバイスをもらう。	見学やインタビューをさせていただいた方を招いて、発表を聞いてもらう。
	しごと（こと）		特産品に関わる仕事を体験させてもらう。		
アウトプットの工夫		<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをリーフレットにまとめ、芳井町以外の知り合いに渡す。 ・調べたことを劇にして、楽しく発表する。 ・調べたことをスライドにまとめ、岡山学び大賞に応募する。 			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

社会科「地域に残る古い建物や祭り」で古い建物について調べる。
国語科「リーフレットにまとめよう」
岡山学び大賞に応募する。

6 他学年、他校（園）種、外部団体との連携・接続・交流

3学期に、「芳井町の昔話を広めよう」で、語りの会「でんでんむし」、幼稚園、生涯学習センターの「お知らせくん」などと協力する予定。

◆単元のねらい「地域の自慢を考える活動を通して、地域の魅力を理解し、現状をふまえた課題を設定する。取材や見学、資料をもとに情報を収集する力や、事象を比較・分類しながら多面的に分析し、相手や目的を意識したプレゼンテーションを行う力を育てると共に、地域の伝統や文化を守り、伝えていきたいという態度を養う。」

課題設定

自分たちの経験から、コロナ禍で、芳井町に来る人が減っていたり、行事が減ったりしているのではないかという疑問をもたせる。

観光客を増やすために、地域の魅力を伝えたいという思いをもたせ、どんな魅力を伝えるか話し合う。

情報収集

知っていることを出し合う。さらに調べたい所を出し合い、相手の方に交渉する。見学に行き、インタビューをする。必要だと思うところを写真にとる。



整理・分析

集めた情報の中で、何を伝えるか選ぶ。どのようにリーフレット、劇、スライドにまとめるか考える。

まとめ・表現

リーフレットを作ったり、学び大賞に動画を送ったり、学習発表会で劇にして発表したりして、地域の方や保護者に魅力を伝える。



◆成果 (○) ・課題 (△) ・来年度に向けて (☆)

- 自分達の地域の魅力に気付き、多くの児童が誇りをもった。
- 他教科と関連させたり、これまで習ったことで使えることがないか考え、実践することができた。
- △他の団体や他学年と交流することは少なかった。
- ☆6年間で福祉分野にふれる活動がないので、4年生で他の団体と交流したり、体験などができたりするとよい。